

さようなら！^{ホンタオ}洪涛さん、^{リユ}李瑜さん 高山での思い出を胸に帰国

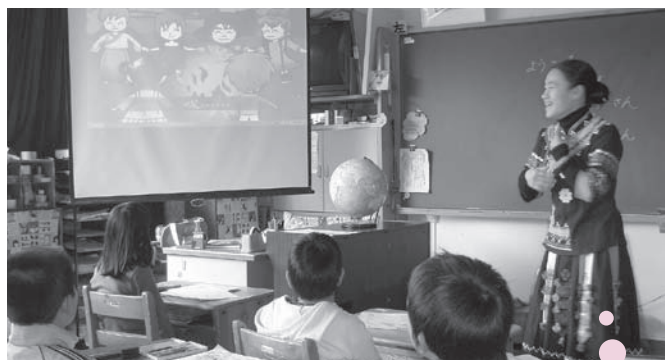
中国雲南省からの国際交流員の洪涛さんと友好都市麗江市からの研修員の李瑜さんが、帰国されました。

洪涛さんは平成18年4月に国際交流員として着任し、2年にわたり中国語講座や交流事業などで活躍されました。李瑜さんは、平成19年6月に研修員として着任し、高山市の教育行政や観光案内業務などに活躍されました。

帰国される前に、お二人に高山の印象、市民のみなさんへのメッセージなどについてお話をいただきました。



洪涛さんによる中国料理教室



新宮小学校で中国の歌を紹介する李瑜さん

洪涛さん

高山は、緑が多く、水も食べ物おいしく、とても住みやすいまちでした。高山の人たちは、派手ではなく、やさしい人たちがばかりで、大好きです。みなさんには、ぜひ古くからのすばらしい伝統や文化を大事にしてくださいと思います。

私は、中国に帰っても、引き続き高山と麗江の交流を深められるよう頑張ります。

李瑜さん

10カ月という短い間でしたが、みなさんありがとうございました。高山での経験によって、今後の私の進む道がはつきり分かった気がします。冬にスキーを体験した時には、あまりの怖さに泣いてしまいました。このチャレンジ精神で、何事にも挑戦していきます。みなさんもぜひ中国に遊びに来てください。

問合せ先 秘書国際室
☎ 35-3130

日本一広い高山市の農政を さらに推進！

農林水産省から農政部長を招へい

日本一の面積を有する高山市では、多くの方々が農業に従事されており、全国有数の農業生産額を誇っています。また、市内の92・5%、約20万haもの広大な森林も有しています。しかし、その一方では荒廃農地の増加や木材価格の低迷などにより適正な森林の管理ができないなど、多くの課題も抱えています。

こうした課題に対応するため、広い見識を持つ農林水産省の西田宏さんを今年度から農政部長として招へいしました。辞令交付の際、土野市長は「農林畜産業者の方々の生の声を広く聴いていただき、これまでの経験を生かし、高山市の農林畜産業の方向性を示してください」と激励しました。

西田部長は「20年前、東部農地開発事業の関係で、高山



市長から辞令を受ける西田部長

市やその周辺地域を度々訪れており、土地勘があります。これからは、中山間地域の農林畜産業を肌で感じ、一人でも多くの関係者の声を聴いていきたいと思っています。また、職員とも議論しながら、この地域が良くなるよう、これまでの経験を生かして頑張ります」と抱負を語りました。